

ニュースクリップ  
**News Clip**

あ き ひと しょう こう にん  
商きない工らす人びと **ふくしま商・工・人**

- P2 ヒストリーインタビュー
- P3 年頭あいさつ
- P4 青年部・女性部だより
- P6 商工会福島県大会
- P8 元気印!!ズームアップ
- P10 Information 商工会だより
- P12 掲示板

国内産の良質な天然食材を提供する天国茶屋の代表 遠藤浩治さんにお伺いしました。

ヒストリーインタビュー

目利き力を活かし会津の食文化を守り全国へ発信～原発事故を乗り越えて～  
会津美里町・天国茶屋

2018.2.1  
Vol.379



# 目利き力を活かし会津の食文化を守り全国へ発信 ～原発事故を乗り越えて～

## 企業紹介と事業コンセプト についてお聞かせください

当店は、会津地方の西北部にある会津美里町本郷地区(旧会津本郷町)にあり昭和四十五年に先代である父が創業。地元で採れる松茸や山菜、野鮎などの天然食材を専門に取り扱う季節料理店として約半世紀にわたりこの地で営業してまいりました。店舗の周りは山に囲まれ、水や空気が澄んでおり、自然豊かで隠れ家と呼ぶにふさわしい雰囲気を感じ出してあります。平成二十九年四月に先代である父から事業承継を行い、家族で経営しております。お店の売りは、とにかく品質の良い素材のみを取り扱い、昔のように囲炉裏を使って調理する方式を採用しており、古来より人々に親しまれてきた食文化を現代に伝えながら素材本来の味を楽しんでもらうことをコンセプトに営業活動しております。

## お店の強みは？

当店の強みは、良品質の素材を最高の状態で提供できる独自の調理スタイルにあります。天然食材が囲炉裏の炭火で焼き上がるまでの過程をお客様自身が五感で体感していただくことにより、天然食材本来の薫りや味わいをじっくりと体感していただけるようになっています。当店自慢の掘り炬燵式の囲炉裏は、小規模事業者持続化補助金を活用して整備しまし

た。また、敷地内にある炭窯で店主が丹精込めて作り上げた自家製炭を使用しているのも当店の特徴の一つであり、『炭火が料理の原点』であると、店主が信念を語るようにそのこだわりは細部まで行き届いております。(原発事故後休止中)

## 事業の転機について お聞かせください

原発事故以降、県内産の野生キノコ等が出荷制限されており、地元で採れた天然食材の取り扱いができない状況に陥りました。あの事故から六年以上経過した今でも状況は変わらず、継続しております。そのような状況の中、残された経営資源を自ら見直し、再起をかけることを決意しました。原発事故による風評被害が払拭できていないことに不安を感じ、官公庁やメディアの方々を自ら招いて試食会を開催。更には、近年増加傾向にある訪日外国人の需要を取り込もうと、インバウンド対策の一環も兼ねて、外国人を招いての試食会を開催するなど、本県における食のイメージ回復に取り組み始めてまいりました。これらに取り組みしていく中で、これまで半世紀にわたり松茸を扱ってきた豊富な経験と知識を活かし、良質な素材を見極める『目利き力』を当店の最大の武器として活かせるのではないかと着目しました。発想の転換により松茸の仕入先を他県に求め、独自のルートを開拓し、仕入れた中から業界でも見分けるのが

難しい松茸の『虫食い』を仕分け、良質の物だけを首都圏に向けて提供する強みを活かした新たなビジネスモデルを構築することができました。

## 料理王国100選 2018優秀賞受賞

食の専門誌である『料理王国』のコーナーで毎年実施されている『料理王国100選2018』に当店で取り扱っている国内産天然松茸が選出され、更にその中でも特に優秀な10商品に贈られる『優秀賞』を受賞することができました。『料理王国』という雑誌は、プロの料理人はもとより料理研究家やマスコミ、そして食通の方々などに支持されている料理専門の月刊誌です。その中で紹介される『料理王国100選』は、一流シェフやバイヤーなど『食のプロ』たちの厳しい目と舌で審査する、いま注目すべき『食の逸品』を厳選する料理界注目のコンクールです。当店では、創業以来約半世紀にわたり地元の国内産天然松茸を扱ってきましたが、原発事故後は出荷制限の為、全て他県産の天然松茸に切り替えることを余儀なくされました。そのような状況の中、本県の郷土食文化喪失の危機感から初めてエントリーすることを決意し、お陰様をもちまして国内産天然キノコ類として初の優秀賞を受賞することができました。原発事故の実害及び風評被害と闘う日々が続く中、この受賞を大きな励みとし、産地とのつながりや人脈

を活かし、素材本来の味を最大限に引き出せるよう更なる精進をしております。

## 今後の展開について抱負を お聞かせください

原発事故の風評被害払拭にはまだまだ時間は掛りそうですが、料理王国100選での『優秀賞』という結果は、当店で取り扱っている松茸が日本一の評価をいただけたと思っております。現在、試作研究を重ねながら栗やイチゴなど地域素材を使った新商品開発に向け、各機関と連携を図りながら実施しており、これらの商品化が、今後、新規事業を展開していくうえで重要なファクターであると認識しております。これらを達成できるよう再度事業と向き合いながら事業の再構築を図ってまいります。また、来る2020年の東京オリンピックを見据え、国籍を問わず郷土の食文化を全世界へ発信していくことを目標に今後も日々精進してまいりたいと考えております。



### 企業概要

企業名 天国茶屋  
代表者名 遠藤 浩治  
住所 〒969-6135  
福島県大沼郡会津美里町大字  
穂馬字天国甲974  
TEL/FAX 0242-56-3944  
H P http://www.amakunichaya.com/

# ふくしまの商工業の再生を目指して

福島県商工会連合会会長 轡田倉治



平成三十年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、我が国経済は、都市部を中心として緩やかな回復基調が続けておりますが、地方の中小企業・小規模事業者にとっては、過疎化や人口減少に伴う働き手不足や消費の縮小、経営者の高齢化、後継者不足など引き続き厳しい経営環境が続いております。本県においては、半数の避難事業者は事業再開にいたらず、また、風評被害の影響が継続するなど様々な業種の中小企業・小規模事業者の経営に多大な影響を与え続けております。

こうした中、昨年は、復興・創生期間の二年目へ向けて会員事業者の事業再開支援や原子力損害賠償に関わる支援をはじめ、会員事業者が抱えている課題を再認識し、真に頼りになる商工会として「ふくしまの商工業の再生を目指して」をスローガンに掲げ、各般の事業に取り組んでまいりました。特に風評被害払拭のための事業として、アンテナショップ「ミナッツ」を継続運営し、県産品のPR及び販売促進、観光PRの推進など、安全・安心の情報発信を強化し、併せて新たな商品開発を実践し、ふくしまのブランドイメージを築き上げるための支援を実施しました。また、マンパワーが不足している被災事業者に対して、事業再開を中心とする情報の提供や収集を行い関係機関との連携を図りながら支援を行ってまいりました。

三月には「福島県中小企業・小規模企業振興基本改正案」が

条例」として、小規模企業が言及されました。この改正を契機に、各市町村における小規模企業振興条例の制定について要望活動を推進しております。小規模企業の役割・位置付けが明確化され、小規模企業の持続的発展と成長のための施策が強力に展開されることを期待しております。

新しい年は、引き続き震災復興や風評被害払拭に取り組む、これまで以上に、中小企業・小規模事業者に寄り添い地域に密着した支援機関として、個々の会員事業者に対し、より一層きめ細かな伴走型支援を実践していかなければならないと考えております。このためには、商工会の支援サービスの更なる充実を図ることが必要不可欠であります。徹底した巡回訪問はもとより、会員の皆様のニーズに応えるため、職員一人ひとりが支援能力の向上に努め、中小企業・小規模事業者への支援に努めてまいります。

また、広域連携体制を二層強化し、効果的な企業支援に取り組む、県内産業に活力を取り戻すことができるよう、各般の事業を展開してまいります。こうした厳しい時こそ地域の絆を大切に励ましあつて前進するものと思っております。八十九商工会と県連が一丸となって、地域の振興・創生の中心的役割を担い、「信頼される商工会」に頼りになる商工会を目指してまいりますので、引き続き、会員皆様方の二層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

結びに、商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

# 挑戦を続け、未来を切り拓く

福島県知事 内堀雅雄



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

震災から間もなく七年を迎えようとしております。県

民の皆様のためまぬ御努力と国内外からの温かく力強い御支援により、インフラの復旧や新たな拠点施設の整備進展を始め、観光地におけるにぎわいの回復

など、これまでの取組の成果が着実に形となつて現れてまいりました。また、避難指示が解除された地域での伝統行事や祭りの復活、若者や子どもたちの文化・スポーツ両面における活躍、全国新酒鑑評会での金賞受賞数五年連続日本一の快挙など、「福島誇り」を取り戻す明るい話題も増えてまいりました。一方で、今もなお、五万人を超える方々が避難を続けているほか、避難地域の再生や被災者の生活再建、廃炉・汚染水対策、風評・風化の問題など、前例のない課題が山積しております。県といたしましては、引き続き直面する課題に二つ二つ挑戦を続けながら、「新生ふくしま」の実現に向け、着実に取組を進めてまいります。

避難地域の復興再生につきましては、復興の基盤となる交通インフラの整備を始め、古里に帰還された方々の生業の再生と新産業の創出、心のケアや医療・介護提供体制の構築など、被災者に寄

り添った支援をしっかりと進めてまいります。また、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、浪江町に整備する世界最大規模の水素製造拠点で作られた水素を活用することを働き掛けるなど、復興五輪のシンボルとなるよう、関係機関と一丸となつて取組を進めてまいります。

地方創生・人口減少対策につきましては、本県は原発事故の問題も抱えており、人口減少は極めて厳しい状況にあります。そのため、結婚・出産・子育てに対する切れ目のない支援を充実させるとともに、若者の地元定着や首都圏等からの還流、働きやすい環境づくりもしっかりと進めるほか、定住・二地域居住や健康長寿に向けた取組など、市町村と緊密に連携しながら重点的に取り組んでまいります。

美しい自然、特色ある歴史や伝統文化、豊かな食などの本県の持つ様々な魅力をいかし、そして古里への熱い思いを抱き、「何としても福島を復興させたい」と懸命に努力を続ける方々と力を合わせ、挑戦を続けながら、福島の明るい未来を切り拓いてまいりますので、今後とも一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。

## 第19回商工会青年部全国大会沖縄大会への参加

第19回商工会青年部全国大会沖縄大会は、「昨年、商工会青年部が全国組織化50周年を迎え、51年目の新たな半世紀のスタートを、日本一元気な沖縄で、人と人をつなげる、商売と商売をつなげる、現世代から次世代へ想いつなぐ『かけはし』になり、これからの時代を歩む仲間と共に、全国の地域の活力となること」を目的に、全国から3,000名（福島県131名）を超える青年部員が参加し、平成29年11月21日～22日にわたり「沖縄県立武道館」で開催されました。



会場の様子

商工会青年部全国大会は、全国の青年部リーダーが一堂に会し、青年部活動推進のための情報交換や資質向上等を目的として毎年開催されております。全国大会



増子さんの商人ネットワークPR

事業の一つとして、各ブロック予選を勝ち抜いた6名の代表者による主張発表全国大会があります。主張発表大会は青年部活動や経営体験等をテーマとして行われており、その発表内容は多くの青年部員に新たな気づきと感動を与え、主張発表大会を通して、青年部員が相互に研鑽することで、地域リーダーとしての自覚と意識の高揚をはじめ、若手経営者・後継者としての資質向上につながっております。今大会では、「私たちの青年部改革プロジェクト」をテーマに発表した、始良市商工会青年部（鹿児島県）の古郡豪人さんが最優秀賞を受賞しました。

また、自らのビジネスに直結した商談の場として開催されている「商人（AKINDO）ネットワークPR」は、参加者のビジネスパートナー探しの場として活用されるとともに、部員間の交流を深め、ビジネスチャンスを創造することを目的としています。本県から矢祭町商工会青年部員のアートポップマシコ・増子雄一さんが前回大会に続き参加し、自身の事業の発信の場として青年部ネットワークを積極的に活用しており、増子さんの出展ブース前には多くの青年部員が訪れておりました。



基調講演の様子



琉球舞踊「四つ竹」

その他にも上江洲清作氏（MONGOL 800）による基調講演や全国青年部長会議等、青年部員にとって充実した2日間となりました。



福島県青連 in 沖縄

## 「地域に響け! 朗らかに 活気あふれる 女性の力」 福島県商工会女性部連合会 設立50周年記念式典

福島県商工会女性部連合会 設立50周年記念式典は、平成29年11月6日(月)に郡山市熱海町「ホテル華の湯」において開催され、内堀県知事をはじめ多数のご来賓を迎え、県内89商工会から284名の女性部員が出席し開催されました。

式典の第1部は、過去50年の女性部活動を振り返るオープニング映像から始まりました。

会長挨拶では、二瓶会長より今日までのご指導ご支援に対し福島県はじめ関係各位、諸先輩方に感謝を申し上げ、50周年を契機として過去の輝かしい実績と伝統を継承し、帰属意識を高めながら地域経済の発展と豊かな地域づくり実現のため邁進することなど挨拶をしました。

そのほか、感謝状贈呈が行われ、平成29年5月に退任されました服部淳子前会長へ、二瓶会長より感謝状及び記念品の授与が行われました。

式典会長挨拶：二瓶恵美子会長▶



式典来賓祝辞：内堀雅雄県知事



感謝状贈呈の様子



記念講演会：六華亭遊花氏



全体懇親会乾杯：県商工労働部 飯塚俊二部長

第2部においては、落語家の六華亭遊花氏を招き「なまって 笑って コミュニケーション」と題し、東北弁の古典落語で語られ、笑いあり、涙あり、ほろっと素朴で暖かみのある記念講演会が行われ、第3部の全体懇親会では、女性部らしく各地区からのアトラクション披露が行われ、参加者全員が盛り上がりと共に今後益々活躍することを誓いました。



アトラクション：県中地区



アトラクション：いわき地区

# 商工会福島県大会で決議

**東日本大震災・原発事故からの復興・再生、  
商工会の組織基盤強化・中小企業・小規模  
事業者の支援体制強化等を力強く表明**

平成二十九年度商工会福島県大会が相模東北経済産業局長、内堀福島県知事、吉田福島県議会議長をはじめ国会議員、県議会議員、市長村関係者等の来賓を迎え十一月三十日、福島市 とうほう・みんなの文化センターで開催された。大会では県内商工会員、青年部・女性部員等が約千名参加し、中小企業の新たな成長の実現と地域経済再生に向けた取り組み、及び国・県に対する景気対策の要望等を決議した。

響田県連会長が挨拶で、「県内産業に活力を取り戻し、地域のコミュニティ機能を再生し、雇用や地域の暮らしに安定をもたらすことは、地域に密着し、地域を牽引する中核的存在である我々商工会の大きな役割である。事業者に寄り添い、伴走型支援に積極的に取り組み、広域連携体制の推進による組織

の強化と、効果的な支援体制の整備を進める。」と述べた。また、感謝状贈呈並びに、役員、青年部・女性部功労者及び優良常勤職員の表彰が行われた。引き続き、意見表明と大会決議が行われ、「東日本大震災・原発事故の被災中小企業・小規模事業者に対する商工会組織を挙げた支援の強化」等の四項目を渡邊武副会長、渋谷重二理事、一ノ瀬正二理事がそれぞれ力強く意見表明し、佐藤一美副会長が大会決議を行い、満場致で承認した。



開会：田中清一郎副会長（双葉町商工会長）



来場者



ご来賓



議長：渡部文一副会長（南会津町商工会長）



来賓挨拶：内堀知事



意見表明 発表者：渋谷重二理事（富久山町商工会長）



意見表明 発表者：渡邊武副会長（伊達市商工会長）



大会決議 発表者：佐藤一美副会長（内郷商工会長）



意見表明 発表者：一ノ瀬正二理事（猪苗代町商工会長）



閉会：高橋健副会長（ひがし商工会長）



万歳三唱：県青連 河治徹会長の音頭

**一、東日本大震災・原発事故の被災中小企業・小規模事業者に対する商工会組織を挙げた支援の強化**

- 1 事業再建・自立に向けた各種支援策の継続・拡充
- 2 一刻も早い原子力災害の完全収束
- 3 風評被害払拭に向けた取り組みの強化
- 4 原子力損害賠償の完全実施
- 5 復興支援員等の継続配置と避難地域商工会に対する支援機能の拡充強化

**二、小規模企業振興基本法を踏まえた小規模企業支援の推進**

- 1 商工会による小規模事業対策の継続・拡充

**三、中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けた支援の強化**

- 1 小規模事業者持続化補助金の継続・拡充
- 2 伴走型小規模事業者支援体制の整備・拡充

**四、商工会の組織基盤の強化及び徹底した会員サービスの充実強化**

- 1 経営支援機能を強化するための小規模事業経営支援事業費の拡充
- 2 小規模企業振興施策の拡充強化
- 3 会員サービスの充実強化のための事業施策の拡充

大会後、「経営課題をいかに解決するか」と題し、株式会社都築経営研究所 代表取締役、元ローソン・ジャパン社長の講演が行われ参加者は熱心に耳を傾けていた。

## 東北経済産業局長表彰

### 優良青年部

伊達市商工会青年部

### 役員等功労者

渡辺辰夫（都路町商工会長） 他四名  
森合浩子（三穂田町商工会経営支援員） 他七名

## 県連会長感謝状

### 退任県連役員

服部淳子（県商工会連合会前理事、県商工会女性部連合会前会長）

## 県連会長表彰

### 役員功労者

芳賀瑞房（田人町商工会副会長） 他二十七名

### 青年部・女性部功労者

今泉清子（鏡石町商工会女性部長） 他女性部四十九名、青年部五十四名

### 優良常勤職員

星 正昭（南会津町商工会経営指導員） 他十三名



東北経済産業局長表彰（役員等功労者）  
渡辺辰夫様（都路町商工会長）



東北経済産業局長表彰（優良青年部）  
佐藤大作部長（伊達市商工会青年部）



県連会長感謝状（退任県連役員）  
服部淳子様（県連前理事、県女連前会長）



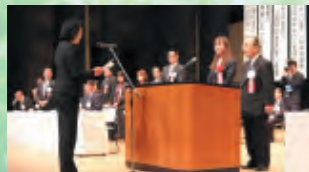
東北経済産業局長表彰（役員等功労者）  
森合浩子様（三穂田町商工会経営支援員）



県連会長表彰（青年部・女性部功労者）  
今泉清子様（鏡石町商工会女性部長）



県連会長表彰（役員功労者）  
芳賀瑞房様（田人町商工会副会長）



謝辞  
蜂須賀禮子様（大熊町商工会長）



県連会長表彰（優良常勤職員）  
星 正昭様（南会津町商工会経営指導員）

# 会津

金山町商工会

## 究極のラーメンを目指して



ひよっこ亭 代表 小川 亨氏

〒968-0322  
福島県大沼郡金山町大字横田字居平640-1  
TEL 0241-56-4936  
営業時間/11:30~14:00  
(夜間営業は予約のみ)  
定休日/毎週火曜日

### ■奥会津の食堂

国道252号線沿いにある当店は、平成13年、和食の板前から心機一転、独立し金山町にて一般食堂を開業しました。板前としての経験を活かし、独自の仕入ルートにより現地直送の海鮮料理等を提供し、昼は食堂、夜は居酒屋として味、ボリュームに定評があり、地元客、観光客にご好評を頂いていました。

### ■商工会の提案

福島原発事故による風評被害、また同年発生した新潟・福島豪雨災害により、当店のある金山町横田地区は只見線が不通となる等、観光客の来店が激減、加えて県内有数の高齢化率の町であり、地域のニーズの先行きが不安な状況の中、延命措置の運転資金借入か？若しくは傷が浅い内の閉店か？そのようなマイナスの覚悟までした上で商工会の指導を仰ぎました。経営指導員からは全く逆の「新商品開発」の話があり、戸惑いもありましたが、初心に帰りもう一度培った技術を活かすことにしました。

### ■新ラーメンの誕生

まず、昼の食事のみにターゲットを絞り、ラーメンとカツ丼をメインメニューとした経

営方針に切り替えました。商工会からは何人かの専門家の先生が派遣され、まずは現状分析からの新メニューの提案・試作、次いで広告教材の作製、更には基本のスープの改良等々、これまで経験のない様々な手法で指導いただきました。そして出来上がったのがゴロッとしたチャーシューが156g入ったボリューム満点の「ゴロチャー麺」と金山特産赤かぼちゃを使ったパンプキンスープとラーメンのコラボ、ヘルシーさが人気の「赤かぼちゃラーメン」です。お客様にとっても好評で、この2品が話題を呼び、相乗効果で他の商品の売上も伸び始めました。まだまだ完成ではありませんので、今後も究極の一杯を目指し、味に磨きをかけていきたいと思ひます。



# 浜通り

内郷商工会

## 地元で愛される中華料理を!



中華キッチン 茉莉花 代表 玉置 雅博氏

〒973-8408  
福島県いわき市内郷高坂町大町30-6  
TEL 0246-38-7230  
URL <http://www.chuukakitchen-matsurika.com/>  
営業時間/ランチ11:00~15:00(LO14:00)  
ディナー17:30~21:00(LO21:00)  
定休日/不定休(ホームページやLINE、Facebookで確認できます)

### ■事業所紹介



いわき市内郷高坂町に平成27年7月より営業している中華料理店です。住宅街の一角にあり、隠れ家的なお店となっております。お店の名前になっている「茉莉花(まつりか)」は「ジャスミン」を意味し、茉莉花をイメージしているお店の内装はさながらカフェのような雰囲気があり、中華料理店とは思えない清潔感の中でゆっくりとお食事を楽しめます。豊富なメニューの中でも四川省産の豆板醤と花山椒をふんだんに使用した麻婆豆腐が一番の人気であり、麻婆豆腐目当てに来店するお客様もいらっしゃいます。中華料理の王道メニューをはじめとして、新メニューについても開発に力を入れております。色とりどりの野菜を使用した女性におすすめのランチセットやフカヒレの姿煮がそのまま上に出したラーメンは昨年出した新メニューとなりますが、多くのお客様より好評を頂いております。また、季節ごとの

旬な食材を使用した期間限定メニューや、店名にもなっているジャスミン茶や青山凍頂ウーロン茶、ダマスクローズ(バラ茶)といった様々なお茶等も準備しております。ディナー営業もあるため、宴会や歓送迎会、女子会などにも気軽にご利用頂ければ幸いです。いわき市で本格的な中華が食べられるお店として、そして地元住民の方々に長く愛されるお店を目指していきたいと思ひます。

### ■商工会の支援

商工会との関わりは、内郷に開業するにあたって知り合いから商工会を紹介いただいたことがきっかけです。その後いわき地区商工会広域連携協議会主催の創業支援セミナーを受講し、創業に向けた心構えはもちろん、融資についての相談や開業手続き等の支援を頂きました。内郷にオープンしてから商工会の支援は継続して受けており、もともと学生時に簿記を勉強していたこともあって記帳についての不安はあまりなかったのですが、日々の帳簿付けでのちょっとした疑問に対してもアドバイスをもらっています。商工会からは定期的に補助金制度などの情報提供を受けておりますが、まだ開業して2年なので事業の基盤をしっかりと作っていくことを優先し、それから機会があれば色々と挑戦できればと考えています。今後も商工会と二人三脚で頑張っていきたいと思ひます。



# 経営支援レポート

## 元気印

# ズームアップ。

県内4地域の商工会から、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。  
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。  
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

# 県北

飯坂町商工会

## 伝統の発酵技術による健康と美容の提供



有限会社 丸滝 取締役 堀切 知之氏

〒960-0201  
福島県福島市飯坂町字東滝ノ町15  
TEL 024-542-2425  
FAX 024-542-9685  
URL <https://www.marutakimiso.jp/>  
営業時間/9:00~17:00  
定休日/不定休

### ■事業紹介

明治22年の創業以来、その製法を受け継いだ天然醸造味噌を製造しております。大豆、塩、自家製糀だけを使用し、じっくりと時間をかけて発酵させます。酵母などの微生物の活動を活かし、時間をかけて熟成させることで本来の旨味・甘味・風味を引き出す商品作りを心がけております。糀をたっぷりを使用した甘糀味噌や、玄米そのものを糀に仕立てて仕込んだ玄米糀味噌など、種類も増えています。えごまを使った「じゅうねんみそ」や、香り豊かな「ゆずみそ」があります。醤油も平釜でコトコトと炊いて仕上げた昔ながらの味です。地元の農家さんから直接仕入れた米を原料に、自家製糀を造っています。その糀を使って甘酒や塩糀を製造しております。



近頃では、腸内環境を改善し健康や美容に役立つと、甘酒が注目されています。飯坂温泉の地の利を生かし、温泉玉子も手がけております。当店の「ラチウム玉子」は、ねっとりとした黄身とシルクのような白身が特徴です。

### ■商工会との関わり

商工会の経営指導員さんの支援をいただきながら、経営革新計画や持続化補助金の承認を得ることができました。以前より、桜の聖母生涯学習センター等で大人を対象とした「味噌造り講座」を行ってまいりました。現在は、助成金のおかげで圧力釜を使用できるようになりました。場所を選ばず、保育園や幼稚園でも「味噌造り出前講座」を開催しています。幼い頃に味噌造りを体験し、和食に親しみながら「食文化の伝承者」になってほしいと願っております。今後は専門家派遣等も積極的に活用しながら、伝統技術の継承や麹を使った新商品による健康と美容の提供を行っていきたくと考えています。



# 県中・県南

熱海町商工会

## いつの時代も愛されるそば屋さんを目指して!



手打そばいしむしろ 熱海本店 店主 上野 善夫氏

〒963-1309  
福島県郡山市熱海町熱海3丁目48  
TEL 024-984-3719  
営業時間/11:00~14:30  
定休日/毎週水曜日

### ■事業所紹介

昭和28年創業、64年の歴史のある老舗のそば店です。旧国道49号線沿いに立地しており、駅、高速ICからのアクセス良好。猪苗代町に支店があります。熱海本店を切り盛りする二代目の上野善夫さんは、東京の名店「巴町砂場」での修行経験を活かし、風味豊かな手打ちそばにこだわりをもって提供しています。店舗は築64年の古民家風で、店舗裏にある五百川のせせらぎが聞こえる趣きある雰囲気となっています。そばの味と店舗の雰囲気も評価されているものの、トイレ周辺の水周りは設備の老朽化が進んでいて、持続化補助金を活用してリニューアルを施しました。これによる評判が非常に良く、若年層も抵抗無くトイレが利用できるようになり、利用しやすい店舗になりました。



二代目の善夫さんは青年部長を経験し、現在は観光飲食部会長を務める行動力、活力のある頼れるリーダー。持ち前のリーダーシップを発揮し、

持続化補助金で策定した計画に則った計画経営を実現しています。商工会としてもできる限りのフォローを、伴走支援により実施していきたいと考えています。

### ■事業所から

当店では季節毎の山菜を天ぷら等で提供していましたが、原発事故以降は使用できない山菜もあり、売上が落ち込んだ時期もありました。持続化補助金申請を機に、経営計画を策定したことが、自社の経営を見直す良い機会になりました。先代からの味を継承しつつ、いつの時代も顧客の方々に愛される店づくりに邁進していきたいと思ひています。



# Information

## 商工会だより

### 「さるなし」による玉川村のPRと商業・工業バランスのとれた事業支援「行われ」

#### 玉川村商工会



玉川村商工会長の  
岩谷幸雄です。

玉川村は阿武隈山系の西端に位置し、季節のめぐりとともに、新緑や紅葉に包まれた阿武隈の山々を仰ぎ見ることが出来ます。また、日本の滝百選のひとつに選ばれている「乙字が滝」があり、滝の近くには松尾芭蕉が訪れたときに詠んだと言われている「五月雨の滝降りうづむ水かさ哉」という句碑があります。

福島空港が立地し、東北自動車道、常磐自動車道へアクセスするあぶくま高原道路や会津若松から須賀川を經由し水戸市まで繋がる国道二一八号線も通り、交通の便も大変恵まれたところでもあります。

玉川村では三十年ほど前から「さるなし」を特産品として売り出す取り組みをしており、も美味しくて猿がすぐに食べて無くなってしまうこととで名付けられたと言われており、ビタミンが豊富で味も形もキウイフルーツに似ており、生食にも適しております。特産品開発に取り組んだ当初は、加

工手段に乏しく、生食をパック詰めして販売していましたが、商品が均質ではなく多くのクレームが相次ぎました。しかし、お客様の意見を活かし、また、村内の関係者の努力によりその苦勞を乗り越え、現在ではジュース、ワインをはじめとして約三十種類もの加工品があり、道の駅「さるなしの里」を中心に販売し、多くの方に購入

いただいております。この「さるなし」商品をさらにブラッシュアップし、多くの方に広め、玉川村のPR活動につなげていきたい所存です。



さるなしジュース

### たまかわプレミアム商品券

玉川村商工会では平成二十九年度において商品券発行事業を行いました。プレミアム率10%で七月と十二月の二回に分け総額千三百二十万円分(プレミアム分百二十万円)を発行し、消費者の利便性の向上、消費喚起により地域経済の活性化を図りました。このプレミアム商品券事業は十年以上継続している事業でもあります。商品券販売会場では商業・サー

ビス業部会員が購入者を対象に抽選会を企画し、より地域での買物を楽しんでいただけるような仕組みづくりを行っております。



商品券

### 工業部会活動

玉川村は工業製品出荷額が高く、県内でも高水準にあり、精度、納期、コストの面でも評価の高い事業所が数多く存在します。商工会では工業部会の活動として製造業者を中心に展示会出展のサポートを行っております。近年ではビジネスマッチ千葉北や産業交流展への出展。また、県内各地の視察研修や他地区商工会部会との交流などを図り、販路開拓への機会創出を図っております。



ビジネスマッチ

### 玉川夏祭り・たまかわ水合戦

八月十三日、青年部が中心となり、実行委員会体制で開催する玉川夏祭りも二十九回目を迎えることができました。ステージイベントや豪華景品が当たる抽選会、ポイント会が担当する浴衣でじゃんけん大会、模擬店も多数出店いたしました。夜には花火大会も同時開催しますが、こちらは三十一回目を迎え、村民たちが毎年楽しみにしている行事です。村の先人たちが立ち上げ、引き継がれてきた花火大会は村内外事業所からご協賛をいただき、盛大に開催させていただいております。

また、本年度はたまかわ水合戦を同日に開催しました。当日はたくさんの方参加者と観客により大変盛り上がり、以前から水合戦を開催している本元の会津坂下町商工会青年部員にご指導・ご協力いただいたからこそ成功もあります。



水合戦

これからはこうした商工会同士の連携で地域活性の相乗効果を図ることの重要性を感じた事業でもあります。今後とも会津坂下町の水合戦と連携し、この事業を拡げていき、他の地区にも浸透させていけたらと思っております。



# Information

商工会だより

## 新たな拠点整備で 地域の活性化を目指す

### 新地町商工会



新地町商工会会長  
の後藤顕二です。

新地町は福島県浜通りの最北に位置し、南に相馬市、北は宮城県山元町、西は同じく丸森町が隣接し、東は太平洋に臨んでいます。西側には鹿狼山を中心に山々が連なり、山・里・海と豊かな自然に恵まれ、また、重要港湾である相馬港や新地火力発電所が立地し、エネルギー生産や物流においても重要な拠点として発展しており、昔から農業や漁業が盛んな町で、歴史的には伊達氏（仙台藩）と相馬氏（相馬藩）が領地を巡って争いを繰り返した地であり、新



常磐道開通



常磐線再開通

地城址など当時の史跡が残っています。当町は約七キロメートル四方の小さな町ですが、東日本大震災の津波により当面積の五分の一が浸水し、商工会員事業所も深刻な被害を受けました。あれから間もなく七年が過ぎようとしています。平成二十六年十二月には常磐自動車道相馬ICと山元IC間が開通、同時に新地ICも設置されました。平成二十八年十二月にはJR常磐線相馬と浜吉田間が開通し、新地駅及び駒ヶ嶺駅も再開いたしました。沿岸部でも昨年の十二月には建設中の相馬LNG基地にLNGタンカーの第一船が入港、今年三月に操業開始される等復興

が加速的に進み、地域経済の活性化、観光交流人口の拡大が期待されます。

また、町が進める新地駅周辺市街地復興整備事業により、商業施設、公共施設、住宅等を集約した中心拠点整備が進んでおり、当会事務所もこの新たな拠点に移転し、賑わいの創出や情報の発信等、地域から期待される役割をはたしていかなければならないと考えており、持続可能な地域の創生の一助となるべく、町行政と協議検討を継続してまいります。

### 経営再建セミナー

「まちづくり」には「地域の絆、人づくり」が大変重要であり、会員事業所個々の発展が地域の活性化には不可欠と考え、当会では例年経営に関する様々なセミナーを開催しております。これまでも消費増税対策、経営計画の作成、事業承継、コーチング、メンタルヘルス、ICT活用、相続税対策等、様々な課題に取り組んでまいりました。

また、当会としても地域産業の振興をテーマに講習会を開催してまいりました。常磐自動車道やJR常磐線等、交通の便に恵まれる反面、消費等の地域外流出増加が課題となっており、今回は駅前の拠点整備にあわせて地域内循環の拡充をめざし、社会関係資本の構築をテーマに地域経済団体として何ができるのかを改めて学び合う場にしたと考えています。



セミナー



今後も当会は会員間の交流は元より、関係機関、各種団体、さらには産業や業種を超えて、共に希望を持って復興とふるさとの持続可能な再生をめざし進んでいきたいと切に願っております。



# ふくしま結婚サポーター

## 企業・団体・店舗募集!

～福島県では結婚を望む男女の出会いを応援する企業等を募集しています～

福利厚生やCSR(社会貢献)の一環として結婚支援に積極的な姿勢を示すことで、企業等のイメージアップにもつながります。

待ち合わせ場所として登録していただければ、初めて出会うお二人の思い出の場所となります。

登録企業は、ふくしま結婚・子育て応援センターのホームページで、PRさせていただきます。

★HP掲載料無料!

### 活動の内容

- ① 従業員向けの周知広報の協力
- ② 顧客向けの周知広報の協力
- ③ 従業員が結婚・子育てしやすい職場環境づくり
- ④ はぴ福なび出張登録会への協力
- ⑤ はぴ福なびの待ち合わせ(お見合い)場所としての登録など

※いずれかひとつだけでも差しつかえありません。

### はぴ福なび

- ◆ お互いの条件が合うお相手の紹介状をパソコンやスマホへお届けする「**オンライン型紹介システム**」です。(会員数1,761名 平成29年12月末)
- ◆ 待ち合わせ(お見合い)は、システムが自動提案した場所もしくは、会員同士がお相手に提案した場所で行われます。
- ◆ 待ち合わせ場所として登録されると…
  - ・システムが自動提案する候補店となります。
  - ・当センターHPにお店の情報を掲載します。

登録  
HP掲載料  
無料!

### お問合せ

ふくしま結婚・子育て応援センター (福島県青少年会館)

☎ 024-544-0070

(祝日・年末年始を除く火～土曜日8:30～17:00)

〒960-8153 福島県福島市黒岩字田部屋53-5  
FAX 024-544-0072

E-mail : f.siwase-ouen@clock.ocn.ne.jp

詳しくはWEBで!

ふくしま結婚 子育て

検索

●当センターは福島県の委託により運営しています。



## 福島県知財総合支援窓口

県内唯一の知的財産に関するワンストップ無料相談窓口

経営課題の**解決は知財**で

TEL 024-963-0242

郡山市待池台1-12 福島県ハイテクプラザ2F

知的財産の活用についてお気軽にご相談ください!

### 窓口支援のポイント

- 1 支援担当者が悩みや課題を解決支援
- 2 必要に応じて専門家を活用
- 3 企業等での訪問相談も可能

(独)工業所有権情報・研修館事業 実施:一般社団法人福島県発明協会 <http://www.fukushima-i.org>



News Clipは循環型社会の現実を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。